

2014 AUTOBACS SUPER GT Round 1 OKAYAMA GT 300 km RACE

2014年4月5日(土)~4月6日(日)

予選 レポート



場所:岡山国際サーキット(岡山県) 1周 3.703 km

天候:曇り / コース:ドライ / 気温:10℃-9℃ / 路温:24℃-17℃ / 観客動員数:9,000人

熟成された SUBARU BRZ で開幕戦を迎える

2014年 SUPER GT シリーズは、ここ岡山国際サーキット(岡山県)で開幕戦を迎えた。今シーズンは昨年よりさらに熟成されたSUBARU BRZが投入され、この素晴らしいマシンのポテンシャルを最大限引き出すべく、ドライバー佐々木孝太、ベテラン山野哲也に代わって起用された井口卓人の二人で1年間を戦う。

4月5日(土)

<公式練習 / 9:00~10:50>

この日の岡山は、晴れてはいるが前日に比べかなり気温が低い一日となった。#61 SUBARU BRZ R&D SPORTは佐々木のドライブでコースに出て行く。チームは午後の予選に向けて順調にメニューを進め、公式練習を無事終了した。

<公式予選 Q1/ 14:00~14:15>

今シーズンも全戦、ノックダウン方式での予選が行われる。15分間の



R&D SPORT

www.rdsport.net

Q1セッションで、13位までがQ2に進める。気温が低い為、タイムアップが非常に難しい状況の中、#61 SUBARU BRZ R&D SPORT 初アタックである井口卓人が計測9周目に1分27秒502を出し、見事5番手でQ1予選を通過する。



<公式予選 Q2/ 15:40~15:52>

12分間のこのセッションで予選順位が決まる。佐々木がQ2を受け持つ。Q1の時より気温が下がり、なおかつ走行時間が短い中でのアタックは非常に難しい状況である。佐々木は計測7周目に渾身のアタックを見せたが、残念ながら4輪脱輪でその週のタイムが抹消され、結果12番手となる。なおGT500クラスのポールポジションは#6 ENEOS SUSTINA RC Fが、GT300クラスは#31 OGT Panasonic PRIUSが獲得した。

■本島監督 コメント



残念ながら、この寒さの中でタイヤに合ったセットアップを見つける事が出来ず、ドライバー二人に苦勞をかけてしまいました。明日は中団からのスタートなので、他車との接触に気を使い、まずは確実にレースをこなし、ポイントを稼ぎたいですね。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>
またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/> もご覧ください

2014年4月5日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net